

第9回「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」実行委員会概要報告

該当部分抜粋

□日時:令和元年(2019)11月23日(土)13時30分～16時30分

□場所:熊本市立図書館(熊本市中央区大江町)2階集会室

4 「今後の活動に向けて」意見交換

※資料3 (三隅さん投稿)

- 三隅さん熊日投稿の紹介「戦争語り継ぐ常設施設望む 8/14」、「戦争継続的に考えていこう 9/10」
- 戦後75年・菊池飛行場ミュージアム開館五周年記念「梯久美子講演会 新しい時代に伝えたいこと」1/12(日)13時～ 菊池市泗水公民館で開催
- 第6回「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」宮崎集会での高谷発表資料「平成29年熊本地震での戦争遺跡の被災から復興へ」
- 荒尾二造市民の会でも地域づくりの視点で見学会実施
- 米国での串木野市今吉孝夫氏資料調査で発見された1945年8月10日の第2回熊本大空襲での新発見写真18枚の紹介。くまもと戦跡ネット所蔵資料



□「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会(仮)」設立

※資料4

- 資料「戦争と平和のミュージアム「ピースくまもと」設立に向けてのタイムテーブル(試案Ⅷ)5/1版」を元に、5月に1回目の話し合いを行った後は、熊本大会準備を優先したことから、進展していない。
- これまで話し合ってきた事をベースに、**小山代表は来年度の最重点課題**として、個人的にも趣意書づくりにも着手している。市長面談時に趣意書手渡しも予定したいとの事である。
- ジェーンズ邸再建に併設した形での平和資料館建設、熊本市が取得したNHK跡地(旧皆行社)やJT跡地(旧師団長官舎)への平和資料館建設での熊本市要望を進めて良いのではないかと。
- NHK跡地等の特別史跡内への新規建物建設はかなり困難ではないかと。
- 熊本市庁舎の建て替えの課題もあり、この時期での熊本市への働きかけが良いのではないかと。
- 戦後75年の好機であるが、体制を「ピースくまもと設立準備事務局会」とするのか、新たな「戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会」とした方が良いのかは、十分な検討が必要である。
- これまでの流れでは、各種の素案検討は全員が部会で集中して協議したほうが良いとされたが、参加者が少なく負担が大きく、やはり全体協議で深める事が良いのであれば、集中的な協議で進める方法もある。
- ただ、全ての作業を事務局だけではできないので、部会枠は残して具体的な作業は部会担当者が分担して進めてほしい。
- 次回以降で、**再度の現状確認の必要があり、そこから方針を確認する事がよいのではないかと。**
- 新たな活動に際しては、**多額の現金を扱う事となり、専任の会計担当が必要である。**

□「戦後75年・2020年 活動計画素案」

※資料5

- 「戦後75年・2020年 活動計画素案」事務局高谷作成
- 菊池未来の会・荒尾二造の会での戦後75年取り組みは先に紹介したとおりであるが、他団体は未定。熊本市・熊日は特段の取り組みが行わないとの事である。
- 当初からの立ち上げが困難であれば、**廃校舎の利用、財務省管理の国有財産建物の利用**も検討してよいのではないかと。ただし、建物借用でない限り、維持管理・税金が課題である。
- 菊池いきいき村等の廃校舎利用での成功事例を参考に検討を進めたい。
- くまもと戦跡ネット原案資料の高谷からの説明**。①熊本市への「熊本空襲資料館」設置要望、②コーディネーター派遣、語り部の派遣、③上村さん資料は自前の資料館を設置。また、先述の第2回熊本大空襲新発見資料の熊本市への提供検討、熊本市立図書館での2020平和展での熊本市教育委員会との両主催を活かしていきたい。
- 熊本市に平和資料館を設置してもらう必然性の説明が必要
- 広島・長崎の伝承制度を検討して、「熊本空襲を語り継ぐの手立て」を考えることも必要
- 生協くまもと平和サポーター会では、会員10名の方々の戦争体験・証言をビデオで収録して、引き続き証言DVD刊行する。くまもと戦跡ネットで監修し、5巻まで刊行予定。
- 活字として残された戦争体験者・証言の利用のあり方も検討が必要ではないかと。